

実践事例

単元名：私たちの名画鑑賞

（観点を決めて作品の魅力を表現する文章を書く）

使用教材「感じたことを文章にしよう 鑑賞文を書く」（一年）

江東区立砂町中学校教諭 堀江佐和子

はじめに

本校の生徒たちは一学期に、教科書一年P64「言葉を集めよう もっと『伝わる』表現を目指して」で、「おやつの魅力」と題し、グループごとに、おやつ（プリン、クッキーなど）を、四つの観点（味・食感など）で分析し、クイズ形式で紹介する活動を行った。この授業で、言葉を引き出すためには観点をもつて見るのが有効であることを学んだ。

本単元では、その学習経験を生かし、絵画を題材として、自分が選んだ作品の魅力について、観点を明らかにして説明をする。観点を意識するという、ものの見方を育てるとともに、作品を語るための語彙にふれその魅力をどう伝えたらよいか考えることで、生徒の言語生活を豊かにすることを目標としたい。

学習の前に

本単元に入る前に、朝日新聞の記念号外の記事（※1）をコピーして生徒に配布した。この記事は、フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」を、「ターバンの青・真珠の輝き・瞳・つやめく唇・古代風の衣装」という五つの観点から紹介したものである。

漠然と「いいなあ」と思っていた作品でも、ある観点からよさを説明すると、その魅力が具体的に生き生きと伝わることや、一つの作品でも多様な見方ができることを、生徒に捉えさせることができた。

一時間目

学習の流れを知って、作品を選ぼう

まず、生徒に学習の見通しをもたせるために、プリント（※2）を配布して、単元の流れを説明した。

次に、教師が選んだ絵画十二作品の中から、好きなものを三つ選ばせた。作家名と作品名は次のとおりである。

- ① フェルメール「真珠の耳飾りの少女」
- ② ドガ「ダンス教室」
- ③ ルノワール「舟遊びをする人々の昼食」
- ④ モディリアニ「タイをする女」
- ⑤ ゴーギャン「自画像」
- ⑥ 喜多川歌麿「三人美人」
- ⑦ 歌川広重
「東海道五十三次 蒲原夜之雪」
かほらの雪のゆき
- ⑧ ボッティチエリ「ヴィーナスの誕生」
- ⑨ ゴッホ「ひまわり」
- ⑩ モネ「印象・日の出」
- ⑪ クレー「欲しがらない子供」
- ⑫ 岡本太郎「駄々っ子」

作品は、「世界の名画ベスト100」という絵葉書のセットを参考にしながら、なるべく作家の国や時代が異なるようにピックアップした。その際、生徒が一度は目にしたことのあるようなものを選ぶように心がけた。やはり、知っている絵が出てくると、生徒たちは盛り上がる。

作品は一枚ずつ大きくカラーコピーし、前と後ろの黒板に掲示。生徒を黒板の前に集め、一枚ずつゆつくりと見させた。また、十二作品を一覧にしたカラーコピーも合わせて配布した。

好きな作品を三つ選んだら、付箋紙に、絵の番号とその絵の魅力をはたと書かせた。その後、付箋紙を回収し、次時では、選んだ作品ごとにグループに分かれ、それぞれの作品の魅力について考えていくことを告げた。

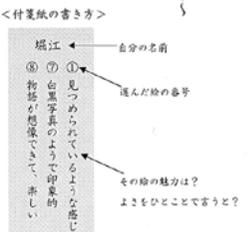
※1 朝日新聞の記念号外 2012年夏に東京都美術館で開催された「マウリッツハイスマ術館展」に合わせて発行された。

単元 私たちの名画鑑賞 発表会

観点を決めて名画の魅力表現する文章を書く

学習の流れ

- 一、学習の流れを知る（単元についての説明）
- 二、十二枚の絵の中から気に入った絵を三枚選び、付箋に書く。
- 三、自分がどの絵を選んだか、どんなところが気に入ったかを、一覧表で知る。
- 四、鑑賞する名画は、第一希望を優先するが、同じ絵を選んだ人が多い場合は、第二希望にまわるともする。
- 五、座席の決定。同じ絵を選んだ人によるグループ編成。
- 六、（グループは最大四人とし、人数が多い場合は二グループに分ける。）教科書P198を読み、「ムラン・ド・ラ・ギャレット」の魅力を感じる観点を挙げる。
- 七、自分が鑑賞する名画について、考えられる観点を挙げる。
- 八、その絵にはどんな観点が考えられるかをできるだけたくさん挙げる。……（2時間目）
- 九、発表のりハイスカル
- 十、発表の順番・順番を決める。短冊に観点を書く。
- 十一、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十二、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十三、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十四、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十五、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十六、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十七、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十八、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 十九、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十一、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十二、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十三、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十四、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十五、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十六、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十七、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十八、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 二十九、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十一、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十二、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十三、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十四、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十五、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十六、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十七、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十八、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 三十九、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十一、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十二、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十三、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十四、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十五、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十六、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十七、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十八、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 四十九、発表の順番を決める。……（4・5時間目）
- 五十、発表の順番を決める。……（4・5時間目）



目標

- 選んだ絵の魅力を感じるための観点を考え、観点を通して豊かな文章を集める。
- クラスのみんなに伝える準備と話し方で、絵の魅力を説明する。

※2 プリント 単元の学習の流れと目標を示した。



二時間目 作品の魅力を語る 観点を知ろう

授業の初めに、前時に集めた付箋紙の一覧(※3)を配布した。その後、教科書P199を見ながら、「鑑賞文を書くときの観点」を確認していった。教科書には、「印象」「構成」「色彩」などの観点が表示されている。これらの観点をただ説明するのではなく、「Aさんは、ゴッホの『ひまわり』について、『黄色とオレンジが強調されている』と書いていますが、これは『色彩』という観点だね」というように、生徒の付箋に書かれた言葉とつなげて説明するようにした。

そして、同じ絵を選んだ人によるグループ編成を発表表(グループは最大四人で、教師があらかじめ決めておく)。最終的に選んだ絵のよさをグループごとに発表してもらうことを告げた。本時では、まず自分が選んだ絵の魅力を伝えるときに、どんな観点が考えられるか、できるだけたくさん挙げさせた。次時では、グループに分かれて、発表の準備をする。

三時間目 作品の魅力について 書くころ

最初に、全員で「観点を決め、作品のよさを具体的に説明する練習」を行った。教科書P203に掲載されている、ゴッホの「夜のカフェテラス」を見て、「色づかい」「構成」「星の描き方」などの観点を挙げ、「空の濃い青色とカフェの屋根の黄色という、対照的な色づかいが美しい」と、具体的に説明をする練習をした。その後、グループに分かれ、どの観点で

私たちの名画鑑賞

友だちの選んだ作品の魅力

1209 ①見とらるような感じ ②楽しそう ③愛らしい	1206 ①周りの色が不自然 ②細かく描かれていて ③古い中国な感じ ④人を愛している	1201 ①ガヤガヤしい感じが ②あかぬき感じが ③リアル	1247 ①花に花が咲いていて ②ひまわりの花を強調 ③周りの色づかいがきれい	1201 ①空の境がうまい ②木々が海に映っていい ③背景の緑がうまい	1238 ①空が青くていい ②形が木々でいい ③のびのびとした感じが ④のびのびとした感じが	1236 ①物音が想像できた ②物音が想像できた ③物音が想像できた	1235 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1234 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1233 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1232 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1231 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1212 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1211 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1245 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1244 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1246 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1242 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ	1241 ①自然の美しさ ②自然の美しさ ③自然の美しさ
--------------------------------------	---	--	--	--	--	---	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

※3 付箋紙の一覧
1時間目に書いた付箋紙を全員分集めてコピーしたもの。①～⑫は、選んだ絵画の番号である。

発表するか話し合わせた。例えば、ゴッホ「ひまわり」を選んだ三名のグループは、話し合いの結果、「花びらの描き方」「動き」「黄色」という三つの観点で発表することになっていた。そして、観点によってどのよう作品の魅力が伝えられるか考えていく。具体的な説明を付箋紙に書き出し、その付箋紙を交換し合うなどしながら、考えをま

とめていった。一人が一つの観点を担当し、教師が作成した例文(※4)にならって、百五十程度、「ミニ鑑賞文」を書いていく。教科書では六百字でまとめた鑑賞文の例が示されているが、私は、本校の生徒の実態に合わせて、一人一観点、百五十程度でまとめることとした。次時では、いよいよグループごとの発表を行う。

ミニ鑑賞文……こんな感じで

表現メモ ・たさんの音 ・談笑 ・音楽ダンス ・ガラスの食器 ・カチカチ ・ダンスする人々 ・来けな ・さわめき	この絵の魅力は、絵から聞こえてくるたさんの音だ。中央の二人の女性は背中を向けた男性と談笑している。後ろの二人は音楽に合わせてダンスをしている。右側の男性のテーブルにはガラスの食器があり、カチカチカチという音も聞こえるようだ。この絵からは、ダンスする人々の楽しげなざわめきが聞こえる。	一段落目 ▼着目した観点 この絵の魅力は、この絵は、音がすばらしい。	二段落目 ▼着目した観点から絵を説明する。(気づいた小さな発見)には、音が描かれているように着目すると、一に気づく。	三段落目 ▼まとめ このように、この絵からは、この絵からは、たしかに、作者は、と、見る人に
--	---	--	---	---

※4 150字の「ミニ鑑賞文」の例
このような例文を示すと、生徒はどのような文章を書けばよいか、捉えやすくなる。

四・五時間目

作品の魅力 伝えよう

グループに分かれ、発表する観点を、短冊形の画用紙に書かせた。これは、発表時に黒板へ貼る。

その後、前時で書いた百五十字の「ミニ鑑賞文」をもとに、発表のリハーサルを行う。発表のモデル例(左参照)を示したワークシートを配布し、それにならって、練習するよう促した。

* * *

【発表のモデル例】

Aさん 私たちのグループは、ルノワール作の「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」を鑑賞しました。鑑賞した観点は、「絵から聞こえてくる音」「印象」「色彩」です(グループで決めた観点を紹介する)では、まず、「絵から聞こえてくる音」について、Bさん、発表をお願いします(最初の発表者を紹介する)。

Bさん この絵の魅力は、「絵から聞こえてくる音」です。…(中略)…次に「色

このグループは、「東海道五十三次 蒲原夜之雪」を選び、「人の姿勢」「雪の積もり方」「色づかい」という三つの観点から、発表をした。

▼人の姿勢(Iさん)

この絵は、「人の姿勢」がすばらしい。手前に描かれた三人の人は長い旅をしてきており、背中にたくさんの雪を積もらせ



東海道五十三次 (保永堂版) 蒲原夜之雪
歌川広重

紙・木版・色摺 24.7 × 37.1cm 1833年頃 静岡県立美術館蔵

彩」についてです。発表はCさんです。
Cさん この絵は「色彩」がとてもすばらしいです。…(中略)…続いて、Dさんどうぞ。

(以下、同様に発表したら、次の発表者を紹介する。)

以上で、私たちの発表を終わります。

* * *

十分ほど練習させた後、いよいよ発表に移る。「コメントシート」を配布し、「発表を聞いた後、ひと言コメントを記入しましょう。コメントは発表した人へのプレゼントだよ。発表のよいところを褒めるような温かいコメントがいいですね」と話した。発表が一方通行にならないように、一つのグループが終わるたび、数名に書いたコメントを発表させた。

思いがけない観点で説明するグループの発表に「おおつ」と、どよめいたり、笑いが起こったり、発表はとても盛り上がった。普段は国語が苦手でおとなしい生徒も、生き生きと発表していた。

なかでも、うまくまとめていたグループの「ミニ鑑賞文」を次ページに示す。

ている。また、背中をまるめて、寒さをこらえている様子も伝わってくる。

この絵は、人物の描き方がとても魅力的でおもしろい作品だ。

▼雪の積もり方(Tさん)

この絵は、なんといっても「雪の積もり方」が魅力的だ。手前を歩いている三人の人物の足あとに

土が見えない。さらに、屋根がなめになっているにもかかわらず、多くの雪が屋根に積もっているように見える。

このことから、長い間降っていたのか、たくさんの雪が積もっている描き方なのかわかる。

▼色づかい(Wさん)

この絵の魅力は、白黒で描かれている空や木の色づかいだ。

天と地の境目は灰色で表され、静かな夜を連想させる。また、木の色は黒だが、白色の濃淡を使うことで、細かな雪を表している。

この絵からは、作者の心づかひが感じられる。色の小さな違いを使って、幻想的な冬を連想させていて、魅力的だ。

私たちの名画鑑賞



【発表を聞いた生徒からのコメント】

「雪の積もり方」というのが、なるほどなあと思いました。雪が長い時間降っていたことが、説明でよくわかりました。

● おわりに

授業の最後には、次のように生徒に話した。「この単元では、みんながいろいろな観点を示してくれました。『色づかい』と言われると、色に注目して絵を見るようになるし、『人の姿勢』と言われると、描かれている人の姿勢が気になってくる。観点を示されると、今まで見えなかったものが見えるようになってきますね。観点は『ものを見る窓』かもしれません」。

本単元では、対象の魅力を伝えるための観点について話し合い、ふさわしい語彙を選び、文章を書いて発表した。この経験は、幅広いものの見方や、豊かな表現力を養うことにつながっていくだろう。今回は、時間の都合で国語科のみで単元を展開していたが、次回は、美術科と連携して授業を行ってみたい。